



Official TEST Report
2019/3/26～27 富士スピードウェイ
2nd Official test

今シーズンの開幕前最後となるスーパーフォーミュラ第 2 回合同テスト富士スピードウェイ。新型車両 SF19 全 20 台が参加して行われた。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING の 2 台はそれぞれ、SF19 のセットアップの確認、SF14 での課題などプログラムを消化してゆく。

チームは予選アタック、決勝ロングラン、様々なセットアップの確認を順調に消化。

山本選手は、1 日目午前のセッションで、1 分 21 秒 742 をマーク。いきなり 従来のコースレコードを 0.8 秒も上回り、初日から他を圧倒する速さをみせた。結局これがこの日の総合トップタイムとなる。

2 日目は風が強く、風向も安定しない中、淡々とテストメニューを消化した。

福住選手も、常に上位タイムを記録しながら、SF19 で初めて走行する富士スピードウェイの習熟、シーズン本戦を見据えた戦略やタイヤ摩耗などのテストを精力的に行った。

2 度のチャンピオンを獲得した山本選手と、ヨーロッパ帰りの若手 福住選手のコンビネーションで迎える 3 週間後の鈴鹿サーキットにむけ、チームはまだ開発の余地がある SF19 をいかに仕上げるのか？

チームとドライバーの勢力図が大きく変わる可能性がある今シーズン。

開幕戦から目が離せない展開となりそうだ。

1 : 山本尚貴 選手 総合 1 位 (ホンダ勢 1 位)

2 日間通して総合トップタイムをマークできたことはポジティブにとらえています。

多くのトライができ、得るものの多いテストでした。

しかし、シーズンを通してトップレベルで戦うには、まだまだ成すべき事が山積みです。短い開幕までの時間に更なる上積みを怠らないように、準備を整えて鈴鹿を迎えたいです。

5 : 福住仁嶺 選手 総合 11 位 (ホンダ勢 6 位)

SF19 で初めて富士スピードウェイを走るため、色々なテーマを持って臨みました。

1 日目走り始めからバランスよく、様々なテストメニューを消化できました。

2 日目は、1 日目のデータをベースに色々なセットアップをテストする中で、いろいろな課題も見つかりました。

経験豊富な山本選手と、安定した強さを誇るチームとともに、いよいよ迎える開幕戦に向けてしっかりと準備します。